

【目次】

2013年 新刊紹介

日本図書館協会の委員会

今後のセミナー等のご案内

新規会員募集のお願い

福岡大会期間中の JLA プース
について



公益社団法人移行認定実現 間近に迫る

詳細は『図書館雑誌』10月号掲載記事をご覧ください。

2013年 新刊紹介

図書館員のためのプログラ ミング講座

JLA 図書館実践シリーズ;22

山本哲也著 2013.9 B6判
160p
ISBN978-4-8204-1309-7
定価:1,680円

▽プログラマーの経験を持つ著者が、基本的なプログラム作成の技能についてやさしく解説します。ごく簡単な計算から、貸出統計、新着図書リスト、返却期限の設定まで、図書館の仕事で応用できるプログラムを自分で作成できるよう、丁寧に手ほどきしてくれます。図書館システムの世界は複雑ですが、プログラミングの技法を理解することで、簡単なデータ処理のプログラムを書けるようになり、それが迅速なデータ処理、サービス提供につながります。まったくの初心者のみならず、プログラミングの世界に臆することなく挑戦していただきたい、という気持ちをこめた好著です。

新着雑誌記事速報から始めてみよう:RSS・APIを活用した図書館サービス

JLA 図書館実践シリーズ;21

牧野雄二, 川嶋斉著 2012.12
B6判 161p
ISBN978-4-8204-1219-9
定価:1,680円

▽本書で紹介する「新着雑誌記事速報」は、他機関の提供するRSSの仕組みを活用し、雑誌タイトルごとに最新の記事をチェックできるサービスを利用者に簡単に提供できるものです。先行

するネットワーク情報資源を有効に利用した図書館サービスとして、評価されています。本書では、現役の図書館員がこのサービスの概要や仕組み、作り方について、サンプルプログラムを使いながら、豊富な事例紹介をまじえてやさしく解説します。図書館でのWebサービスになかなか着手できなかった図書館員のみならず、プログラミングの初心者のみならずにも、「まず挑戦してみよう!」という気持ちになっていただける好著です。

インターネットで文献探索 2013年版

JLA 図書館実践シリーズ;7

伊藤民雄著 2013.5 B6判
197p
ISBN978-4-8204-1301-1
定価:1,890円

▽2010年版から3年、インターネットの世界は日々変貌しています。そこで今回、本書では、2013年2月現在の文献・情報検索サイト情報を記録しました。図書、雑誌、新聞、視聴覚資料とそれらの記事・論文等について、検索に有効なサイトとデータベースで、検索については無料のものを収録の原則としています。今回は特に、スマートフォンによる文献探索についてコラムで紹介し、さらに利便性を高めています。図書館での利用者支援のツールとしてはもちろん、インターネットの大海に漕ぎ出す一般の方々にも役立つ一冊です。

ぼくは、図書館がすき:漆原 宏写真集

漆原宏著 2013.4 A5判横
87p
ISBN978-4-8204-1300-4
定価:2,940円

▽『図書館雑誌』口絵でおなじみの写真家、漆原宏さんによる写真集がついにできました。全国各地の図書館取材し、撮影してきた写真から選んだ約80点を、全点カラーでお届けします。図書館に集うさまざまな人々の表情をぜひご覧ください。随所に漆原さんの「ぼくは、図書館がすき」を見つけることができます。図書館が好きな人たちにはきっと楽しんでいただけますし、図書館で働く人たちにはあらためて「図書館はいいものだなあ」と感じていただける1冊です。

IFLA ヤングアダルトへの図書館サービスガイドライン 2008年

国際図書館連盟児童・ヤングアダルト図書館分科会編 日本図書館協会児童青少年委員会訳
2013.7 A5判 34p
ISBN978-4-8204-1305-9

頒価 700円(税込)
【ABC会員配付資料】
▽Guidelines for Library Services for Young Adultsの翻訳。1996年に出版した版の改訂版。

※第3面につづく



各委員会の詳細の活動内容は、日図協 HP にて

www.jla.or.jp/

日本図書館協会の委員会

テーマ別に活動する委員会があります

日本図書館協会は他の図書館の活動や図書館利用者の視点・要望を知って、横断的な視点を獲得できる場でもあります。その活動の成果は、全国図書館大会*やそれぞれの研究集会、機関誌『図書館雑誌』などで発表されます。

* 毎年開催されます。全国各地から図書館員や図書館関係者、約 2000 人が集まり、1 年の成果や実践報告、これからの課題などを討議し、図書館員としての考え方と実践とを蓄積しています。

●図書館の課題にとりくみます。

◆図書館政策企画委員会

国や自治体の図書館政策、制度や基準を検討し、さまざまな事態に対応します。政策課題を整理し、その解決を図ります。

* 望ましい基準検討チーム

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準解説(仮)準備中

* 非正規雇用職員問題検討チーム

「図書館基礎講座」を企画・運営しています。

◆研修事業委員会

中堅職員を対象にした「ステップアップ研修」をはじめ、図書館職員の資質の向上をめざした総合的・体系的な研修を実施しています。

◆著作権委員会

図書館界の著作権問題に対処するための委員会です。著作権関係の動向を把握しながら問題の発見に努めています。

●出版物を通して役立つ情報をお知らせします。

◆出版委員会

図書館にかかわる人たちに役立つ出版物の企画・刊行を目的として活動している委員会です。日本図書館協会に設置されている各種の委員会の研究活動の成果を印刷物として出版し普及することを支援し、さらに図書館員、図書館学の研究者の活動・実践の成果を出版して広く普及しています。

◆用語委員会

図書館用語の定義と適切な説明を付した『図書館用語集』の維持管理をします。

◆図書館雑誌編集委員会

図書館の出来事や会員の研究成果を機関誌『図書館雑誌』を通じて広くつたえまします。

◆現代の図書館編集委員会

図書館学の新しい成果や調査研究の情報をとらえるため、季刊誌『現代の図書館』を刊行しています。

◆図書館年鑑編集委員会

『図書館年鑑』を通して、国内での出来事をすべての種類の図書館につたえています。

◆図書選定事業委員会

新刊書の中から図書館に備えたい本を選び、解説付きのリストを編集。選書ツールとして役立つ週報『選定図書速報』、年刊『選定図書総目録』を刊行しています。

◆出版流通委員会

図書館と出版流通の関係を調査・研究しています。

●図書館が広く社会に普及するよう活動します。

◆図書館調査事業委員会

公共・大学・短大・高専図書館の基本的データを収集するため、毎年全国調査をします。その結果を『日本の図書館』に掲載しています。

◆図書館の自由委員会

「図書館の自由に関する宣言」の趣旨の普及のための活動を行っています。図書館の自由に関する相談や、研修会の開催についての相談に応じています。ニューズレター『図書館の自由』を定期刊行しています。

◆図書館利用教育委員会

『図書館利用教育ハンドブック』を通し、その普及活動を行います。

◆資料保存委員会

資料保存に関連した諸課題の解決と進展をはかることを目的とする研究・研修会の開催、機関紙・単行本の刊行、その他委員会が必要と認める事業を行っています。ニューズレター『資料保存』を定期刊行しています。

◆障害者サービス委員会

“図書館利用に障害のある人たち”に対するサービスをすすめていくためのさまざまな活動を行っています。身体に障害のある人たちをはじめ、入院患者・自宅療養者・高齢者・在日外国の人たち等幅広い視野で図書館利用を考え、みなさんと共にこの活動を進展させていきたいと願っています。

◆多文化サービス委員会

民族的、言語的、文化的少数者(マイノリティ)すなわち文化や言語の面から“図書館利用に障害のある人たち”に対して知る自由、読む権利、学ぶ権利を資料・情報の

提供によって保障していくための図書館活動である多文化社会図書館サービス(多文化サービス)を進めていくため、調査、出版等様々な活動を行っています。

◆施設委員会

図書館基本計画の受託、図書館建築賞の審査、建築研修会の開催をし、図書館建築の向上をめざします。

◆児童青少年委員会

乳幼児、児童・青少年への、より一層の図書館利用の普及をめざします。毎年「児童図書館員養成専門講座」を開催し、中堅職員のレベルアップを支援しています。

◆健康情報委員会

日本の公共図書館における市民への健康情報提供サービスの推進をめざします。

◆日本図書館協会認定司書事業委員会

司書全体の研鑽努力を奨励するとともに、司書職のキャリア形成や社会的認知の向上に資することをねらいとし、「認定司書」の募集と審査を実施しています。

●資料組織化やツールの維持管理を図ります。

◆目録委員会

『日本目録規則』を必要に応じて改訂するとともに、目録全般について調査・研究をします。

◆分類委員会

『日本十進分類法』の維持管理と改訂をします。

●その他、、、

選挙管理委員会や必要に応じて設置される委員会があります。

◆件名委員会

時代に応じた新しい件名の採用『基本件名標目表』の維持管理をします。

●国際交流をひろげていきます。

◆国際交流委員会

各国の図書館協会や図書館関係団体と交流します。国際図書館連盟(IFLA)の日本の窓口として、毎年開催の年次大会に出席し、さまざまな課題に対応しています。韓国図書館協会、中国図書館協会やアリゾナ州図書館協会と定期的に交流しています。



JLA 図書館情報学 テキストシリーズⅢの 新刊

① 図書館概論

塩見昇編著
2012.12 B5判 284p
ISBN978-4-8204-1216-8
定価:1,995円

⑧ 図書館情報資源概論

馬場俊明編著
2013.12 B5判 270p
ISBN978-4-8204-1217-5
定価:1,995円

⑪ 図書・図書館史

小黒浩司編著
2013.1 B5判 158p
ISBN978-4-8204-1218-2
定価:1,365円

(別巻)図書館員のための 生涯学習概論

朝比奈大作著
2013.2 B5判 254p
ISBN978-4-8204-1224-3
定価:1,995円

2013年 新刊紹介 (つづき)

図書館の自由に関する全国 公立図書館調査 2011年 :付・図書館の自由に関する 事例 2005~2011年

日本図書館協会図書館の自由委員会編 2013.6 A5判 170p
ISBN978-4-8204-1303-5
定価:2,100円

【A 会員配付資料】

▽I章は2011年に実施した「図書館の自由に関する全国公立図書館調査」結果報告です。1995年に実施した同様の調査との比較のほか、資料提供、利用制限の判断、子どものプライバシー、個人情報保護などと司書の配置、館長の有資格との関連等、詳細な分析がなされています。II章は『図書館の自由に関する事例33選』(図書館と自由14集, 1997年刊)、『図書館の自由に関する事例集』(2008年刊)に続く、2005年から2011年までの図書館と自由をめぐる事例14件を収録しています。あわせて関連年表(2012年まで)を掲載しました。

図書館実習 Q&A

川原亜希世ほか著 2013.4 B5判 97p
ISBN978-4-8204-1302-8
定価:1,680円

▽図書館実習について、学生を送り出す司書課程の教員、実習に赴く学生、実習生を受け入れる公立図書館の3者の視点から、39の質問を用意。2007年以来、この分野の現状調査を行ってきた著者が、研究で得た知見を踏まえて、質問への回答と丁寧な解説をまとめました。また、サンプル集として、実習のスケジュール、希望調査票、覚書、注意事項など、コピーして使える書式も豊富に用意されています。図書館実習を実施しようとする司書課程、学生、受け入れる図書館のみなさんに必ず役立つ1冊です。

レファレンスブックス: 選びかた た使いかた

長澤雅男, 石黒祐子共著
2013.1 A5判 242p
ISBN978-4-8204-1222-9
定価:1,470円

▽レファレンスサービスではインターネット情報資源が多く活用されていますが、体系的で全体的な構成に位置づけられた情報を検索するときにはレファレンスブックを参照し確認する必要があります。本書は『情報源としてのレファレンスブックス』新版の構成を基本とし、インターネット情報資源とレファレンスブックを広く展望し、その種類から特徴を理解するのに役立つタイトルを選び解説しています。新たに出版されたタイトルや続刊、終刊に伴う解説の書き換え、追加等を行い、関連する他のメディア(CD-ROM等)にも言及しました。レファレンスブックへの深い理解と、より幅広いレファレンスサービスの展開に役立つ1冊です。

●最新刊●

図書館用語集 四訂版

日本図書館協会用語委員会編
2013.10 B6判変型 368p
ISBN978-4-8204-1311-0
定価:2,730円

書籍の購入方法

日図協 HP から購入可能ですが、ご希望の書名を検索していただき、買い物カートに入れてお手続きしていただくことになります。

詳細は、別紙、または、日図協 HP まで。

12月20日まで
期間限定
特割販売
実施中!!

今後のセミナー等のご案内

第35回日本図書館協会施設委員会 図書館建築研修会(2013年度)

「地域と図書館、その建築」<地域とのつながり>を考えた図書館建築

キハラ株式会社創立100周年記念協賛事業

図書館を建設する際、地域との関係性を考えることは不可欠の要素です。それは図書館があらゆる年齢層の人々を利用対象とする施設だからであり、高い集客力が地域活性化に寄与すると期待されるか

らでもあります。今回の研修会では、地域活性化に果たす図書館の役割や地域のランドマークとしての図書館建築の存在意義について、参加者各位とともに学ぶ機会にしたいと思っております。なお、新築・改築での個別事例に関する相談も受け付けます。ふるってご参加ください。

主催：日本図書館協会施設委員会、協賛：キハラ株式会社
会場：東京近郊(予定)
日時：2014年2月(予定)

参加費：①会員4,000円、一般7,000円、学生2,000円
②懇親会：5,000円(会場近くにて)
定員80名(申込順・定員次第締切)
お申込、問合せ：e-mail または FAXにてお申し込みください。
FAX03-3523-0841
e-mail: kikaku@jla.or.jp
担当 企画調査部

※その他セミナー開催も決定次第、『図書館雑誌』、メールマガジン、日図協HPにてご案内中!

(社)日本図書館協会
〒104-0033
東京都中央区新川
1-11-14

電話番号
03-3523-0811(代)

このちらしの内容についてのお問い合わせは、企画調査部まで

Tel
03-3523-0815(企画調査部)
Fax
03-3523-0841(代)
E-mail
kikaku@jla.or.jp

期間限定 入会キャンペーン実施中

日本図書館協会は、いつでも、どこでも、新規会員募集をしております。

どなたでも、ご入会できますので、図書館で働く方、図書館についてもっといろいろな情報を知りたい方、また、もっといろいろな「図書館人」と交流したい方

ご入会お手続き完了後、2013年度入会キャンペーン特典「図書館の自由に関する宣言」ポスター絵柄のJLAオリジナルクリアフォルダに、加えて、図書館大会ご参加の皆さま限定の特典をお送りいたします。

ぜひ、この機会にご入会ください。

大会限定特典ご希望の方は、入会の際に「大会ちらしをみて」と「企画調査部 入会キャンペーン係」までご連絡ください。

個人会員 9000円/年間

図書館大会期間中、JLA ブースでご入会の手続きを承っております。ぜひこの機会にご検討ください。

入会申込資料のご請求は・・・

入会申込のご請求は、「お名前」「ご連絡先」「申込書送付先住所(〒も)」「大会ちらしをみて」の旨を明記の上、企画調査部まで、メールでお申込みください。(アドレスは右上に)

日図協HPから入会申し込みも可能ですが、会費の振込を確認してから「会員」となります。お申込だけでは入会手続き完了となりませんので、ご注意ください。詳細は、JLA HP「入会キャンペーン」係まで。

大会期間中のJLAブースについて

福岡大会のJLAブースでは、

1日目：展示コーナー(交流ギャラリー) 17時頃まで(予定)

2日目：アクロス福岡 6階 ロビー 16時頃まで(予定)

- ・新規会員入会受付
- ・JLA出版物、「図書館の自由」ポストカード、ポスター、JLAオリジナルクリアフォルダの販売
- ・映画「疎開した40万冊の図書」予告編上映
- ・認定司書制度、内容についてポスター展示。認定司書制度、申請方法、内容について、事業委員会委員が説明(1日目のみ)。

・・・等をおこなっています。

お気軽にお立ち寄りください。

文部科学省選定ノドキュメンタリー映画

疎開した40万冊の図書 戦時下“本”を守った人々がいた

映画紹介トークショーを開催します

11月21日(大会1日目) アクロス福岡 展示コーナー (2F 交流ギャラリー)

開演:1回目 13:00~13:20 2回目 17:00~17:30

トークショー登壇者:長塚京三(俳優・ナレーション)/金高謙二(映画監督)

内容:映画紹介と映画の見所、文化を残す意義、映画では語りつくせなかった図書への想い等をお話いたします。

ちらしに掲載のJLA出版物、セミナー、お知らせ等の詳細につきましては、日図協HP、『図書館雑誌』、メールマガジンをご覧ください。